

## 寒風が菜っ葉を甘く柔らかくする

畑でアブラナを収穫していた鈴木サトさんと、通りがかった知人との会話から・・・

「少し持っていがねえげ。大きいけど固ぐねえんだわ」

「んだね、霜にあだつとやっこぐなんだよね。せっかぐだから、もらつてぐがな」



常磐道勿来インターを降りて、国道289を少し西に走ったところに「ほうき星」という喫茶店があって、アイガモ「たろう・はなこ」がいます。雌のはなこは、うちから嫁いだ後妻さんです。

ちなみに、男ヤモメになった鴨をカモメとは言いません。



## 1粒いくらで売りたいほどのアズキ

無農薬で栽培したアズキ。じつは収穫後も大変で、写真のように、サトさんが一粒ずつ手で選別しました。

だれよりも作った本人が、「これはうまい」と、いわば

幸せの味です。

これに比べたら、買って食べるお饅頭などの餡の味のなさ。別物だとあきらめるしかなくなるかもしれません。その点では不幸を呼ぶ味かもしれませんが。

## 「うぶん」をめぐる点と線

連載①

右は、今年2月に撮ったニツ島の写真です。印刷で見えるかどうか、島の上部に繁っている樹が白く変色してしまっています。ここをめぐらしている鶉のフンによるものと思われます。

近くに住む人に聞いても、こんな光景は何十年来で初めてだといいます。木が枯れてしまわないかと心配の声も上がりました。

市の観光課に問い合わせると、海岸は県の管理だとのこと。そこで県を訪ねてみると、樹木については、国の営林署(いまは森林管理署)の管轄ではないかとのこと。市→県→国と見事にタライがまわりました(^;) ;



で、問い合わせた森林管理署によると、あそこは木材資源としては無価値なので管理外なんだそうです。「市の観光課にでも問い合わせてみたら」と、ふりだしに戻ってしま

いました。

いずれ雨が降れば流れるだろうという期待もありましたが、夏を過ぎても大きな改善はみられませんでした。(つづく)